

2020年度 事業報告

1



Lake Mountain healthcare group

湖山医療福祉グループ



社会福祉法人 **大和会**



2020年度 大和会 事業概要 1

1. 湖山医療福祉グループ共通取組事項の推進

社会福祉法人大和会は、2018年1月1日に湖山医療福祉グループの一員となり、2020年度は多摩地区を中心とした更なる医療・介護・福祉の質的向上と法人事業の安定的発展を目指し、地域住民の皆様により良いサービスを提供し、「自らが受けたい医療と福祉の創造」の体現が出来るよう事業活動を推進してまいりました。また、グループ連携を行う上での組織再編、経営基本会議、新規事業会議、BPM/GPM、法人相互監査、こやまケアとISO、新卒職員の合同採用及び合同入職式、研修会等、グループ共通の取り組み事項を推進しました。

2020年度 大和会 事業概要 2

2. 新規事業へのチャレンジ

高齢系は都内特養ホームの公募及び新宿和光園の工事入札、補助協議等実施

★公募実績

①小金井市特別養護老人ホーム等公募申請

(不採択※地元小金井市で特養を展開する法人に決定)

開設予定時期：令和5年8月中

住所：東京都小金井市本町四丁目2789番6 JKK跡地

特別養護老人ホーム 12名/1ユニット 地上6階建て

1フロア4ユニット×3F

1フロア2ユニット×1F 定員168名(うちショート24名)

児童系＝新園やまとさくら保育園の開設

2020年度 大和会 事業概要 3 新型コロナウイルスクラスター対応と対策



和光園で1月から3月に発生した新型コロナウイルス集団感染につきましては、ご利用者74名・職員20名計94名の感染という大規模クラスターとなり、応援職員をはじめ支援物資等々、湖山グループ法人の皆様の温かいご支援により期中に収束を迎えることができました。また、その経験を生かしてクラスター発生の施設への応援派遣もさせていただくことができました。このことを教訓に新たな感染症対策を策定し、集団感染を確実に防止する対策を講じて参ります。

特別養護老人ホーム新宿和光園

Shinjuku Wakouen



やまとさくら保育園

Yamato Sakura

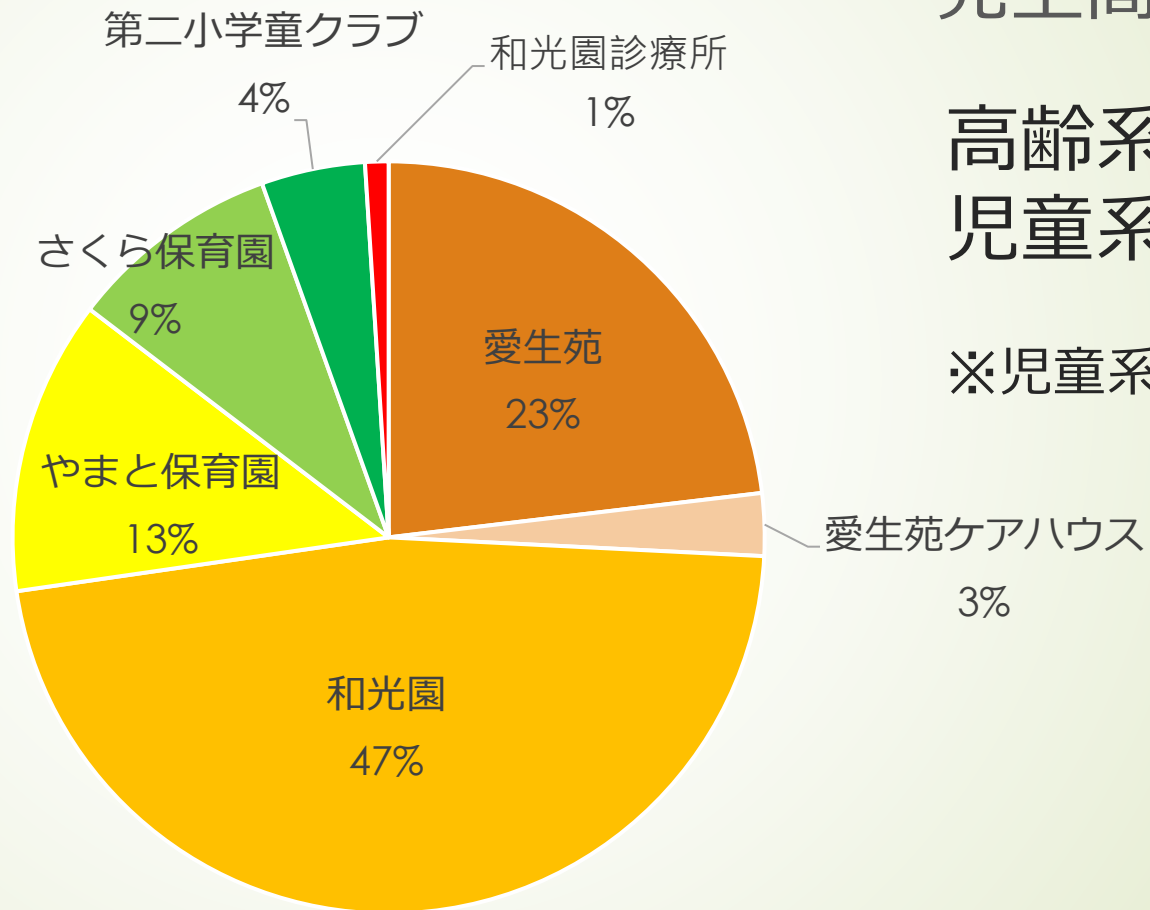


2020年度 決算概要 I

(単位 : 万円)	2008 年度	2009 年度	2010 年度	2011 年度	2012 年度	2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度
事業活動 収入計	140,567	147,603	150,238	148,016	141,431	139,172	138,770	141,363	142,544	150,610	153,529	153,435	164,506
事業活動 支出計	138,904	142,323	142,864	141,964	135,655	138,008	131,635	132,560	133,593	138,826	142,759	150,524	165,038
事業活動 収支差額	1,663	5,280	7,374	6,051	5,777	1,164	7,135	8,804	8,951	11,784	10,771	2,911	-532
収支 差額率	1.2%	3.7%	4.9%	4.3%	4.1%	0.8%	5.1%	6.2%	6.3%	7.8%	7.0%	1.9%	-0.3%
人件費 比率	65.3%	66.7%	67.5%	69.0%	68.6%	73.3%	74.3%	73.8%	73.8%	73.0%	72.5%	74.9%	76.2%
經常利益	2,892	6,076	8,163	7,038	6,013	1,506	2,964	3,829	3,921	6,195	5,463	3,319	2
利益率	2.0%	4.1%	5.4%	4.8%	4.2%	1.1%	2.1%	2.7%	2.8%	4.1%	3.6%	2.2%	0.0%
純資産	464,273	463,190	467,776	467,365	467,156	462,200	458,529	456,008	453,942	453,841	452,963	456,290	451,611
流動資産	74,651	81,780	80,626	83,630	88,033	49,760	50,138	50,496	55,470	61,804	67,255	72,925	104,592
固定資産	433,047	428,611	425,594	418,096	414,992	443,954	434,520	428,114	421,671	416,399	411,536	411,134	377,188

2020年度 決算概要 II

- 愛生苑
- 愛生苑ケアハウス
- 和光園
- やまと保育園
- さくら保育園
- 第二小学童クラブ
- 和光園診療所



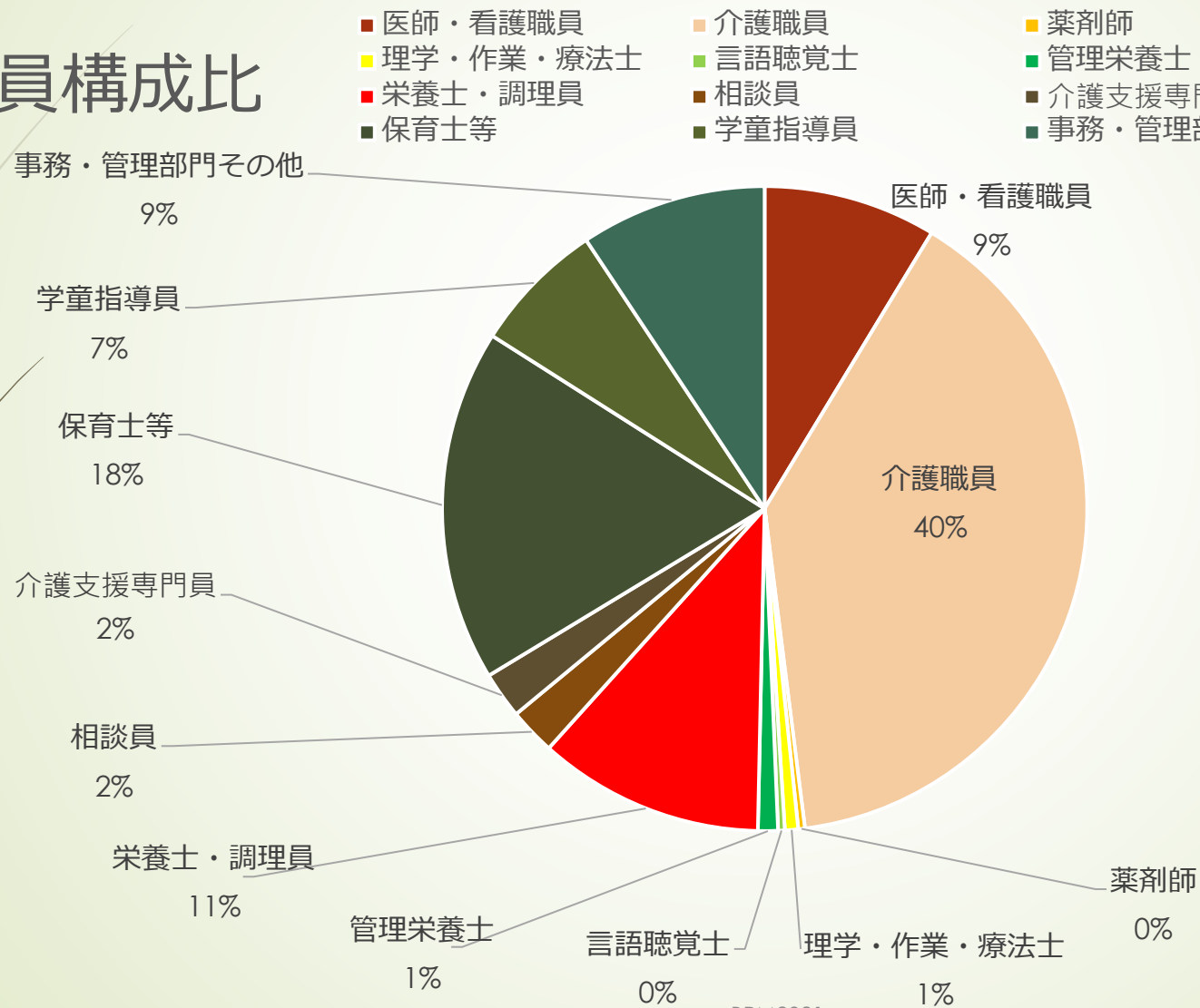
売上高構成比

高齢系：74%
児童系：26%

※児童系前年比+6%

2020年度 決算概要 Ⅲ

人員構成比



期末人員計：300名
(前年比104.2%)

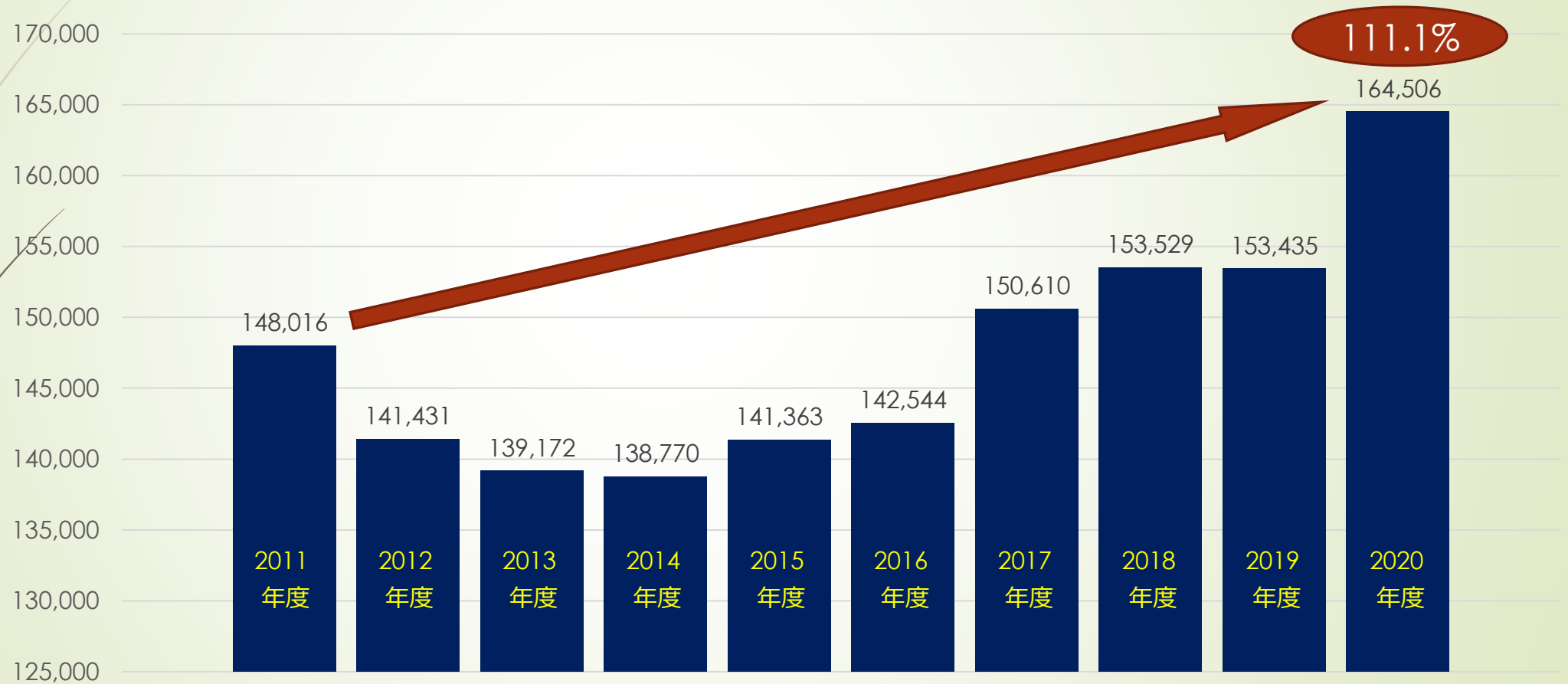
【離職率】常勤職員

介護職員	2.5%
看護職員	16.6%
保育士	3.6%
学童	12.5%
全体 (含む非常勤)	7.3%

新卒採用：8名

2020年度 決算概要 IV

売上高 10年推移（事業活動収入） （単位：万円）



2020年度 決算概要 V

經常利益10年推移

(単位：万円)



拠点別事業報告

- 1. 愛生苑
- 2. 和光園
- 3. やまと保育園
- 4. やまとさくら保育園
- 5. 多摩市第二小学童クラブ



2020年度 決算概要 I

	定員	稼働状況		サービス活動 収益	サービス活動 費用	サービス活動 増減差額	経常利益	資金収支差額
		計画	実績					
本部				0	4,028,754	-4,028,754	-3,395,257	22,408,401
愛生苑	特養80名	97.5%	98.3%	380,416,759	380,236,409	180,350	4,965,453	-16,820,777
	ケアハウス16名	100.0%	100.0%	44,181,850	38,155,646	6,026,204	6,073,452	6,695,958
和光園	特養130名	97.5%	92.5%	772,263,360	774,234,967	-1,971,607	-2,671,659	10,839,229
	短期 4名	97.5%	88.4%			0		
	デイ 40名	70.0%	65.5%			0		
	認デ 10名	55.0%	54.2%			0		
やまと保育園	100名	100.0%	93.2%	208,449,213	196,467,215	11,981,998	12,039,447	3,025,612
さくら保育園	60名	88.3%	81.6%	150,704,080	163,553,822	-12,849,742	-12,754,603	5,755,799
第二小学童	135名	98.5%	93.5%	73,460,940	64,953,803	8,507,137	8,928,115	4,282,025
和光園診療所				16,542,998	12,854,317	3,688,681	3,694,018	2,492,883
小計				1,646,019,200	1,634,484,933	11,534,267	16,878,966	38,679,130
新宿和光園準備				0	16,859,168	-16,859,168	-16,857,286	268,808,714
合計				1,646,019,200	1,651,344,101	-5,324,901	21,680	307,487,844

愛生苑（特養・ケアハウス）



【事業報告】

- 人材確保と育成の推進
 - ア) 職員の在籍出向 2020年度新規採用枠として5名を増員採用し、カメラア会つばめの里本町東、厚生荘病院へ、在籍出向を行いました。（3名：延べ12カ月間）
 - イ) 東京都補助金を活用した福祉避難所要員としての借上げ寮制度を設定。結果3名の入寮者を獲得できた。また、国の奨学金補助制度2名が活用しました。
 - ウ) 今年度もキャリア段位制度を継続実施。認定者1名を輩出しました。
- 利用者サービスの充実化
 - ア) 第三者評価についてはこやまケアお客様アンケートも並行して実施。頂いた意見要望については実施報告書を作成し説明を行うとともに、環境整備等対策を実施しました。
 - イ) コロナ渦においてフロア単位での余暇、中庭を活用した音楽の提供を行った。
 - ウ) ケアハウス利用者には外出の頻度の減少に伴う体力低下予防のためYouTubeを活用した体操を実施した。
- 地域公益活動の積極的展開
 - ・コロナ渦によりほとんどのイベントが中止となった。小学校での福祉授業については2回実施しました。
 - ・たまし飯（多摩市商店街主催の食事テイクアウトイベント）に参加した。

和光園（特養・ケアセンター）



【事業報告】

- 人材対策の推進
 - ア) 第三者評価受審（利用者アンケート・家族アンケート）
 - イ) アセッサー制度継続
レベル認定者34名（特養25・センター9）アセッサー11名（特養8・センター3）
- 利用者サービスの充実化
 - ア) こやまケア推進（お客様アンケート実施・チームケア学会発表・法人内研究発表
法人内相互監査・法人間相互監査実施・法人内研究発表・経営基礎講座1名）
 - イ) 感染症委員会他法定委員会実施・食事ケア向上委員会
 - ウ) 感染症対策の強化
（集団感染後の新たな感染症強化による手順書・日々のアラート対応の整備・
WEBを使った情報共有会議サービス調整会議開催・応援介護職員輩出）
- 地域貢献
 - 地域貢献活動（法人地域貢献活動への参加・多摩市内小学校福祉体験授業
・多摩市社会福祉法人ネットワーク事業）

やまと保育園



【事業報告】

- 新規拠点展開と人材育成の推進
 - ア) キャリアアップ制度による職位職責の明確化と人材育成の仕組みを構築し、積極的に研修を受講させた。
 - イ) 職員総数 1 / 3 の新入職員を迎い入れるにあたり、マニュアルの見直しと周知徹底。クラスリーダーを○JT教育担当とし個別行動計画をもとにきめ細やかな育成を実践した。
- 利用者サービスの充実と関係機関との連携強化
 - ア) コロナウィルス感染症感染防止策を意識し、体調管理や消毒清掃の徹底。『コロナ禍においても子ども達には沢山の楽しい経験をさせてあげたい。』をスローガンに、感染防止策を講じた行事の見直しを行った。又、職員会議や園内研修を対面からオンライン形式に切り替えた。
 - イ) 我が子を預けたいと思う保育の創造を目指し、保育の共有化及び標準化を推進しました。
 - ウ) 子育て困難家庭や発達支援の必要な児童への適切な助言と関係機関との連携を強化し情報共有に努めた。
- 地域貢献事業の推進
 - ア) 保育士および歯科衛生士の実習受け入れ、次世代の人材育成においても地域の子育て拠点の役割を担いました。

やまとさくら保育園



【事業報告】

- 採用と人材育成の推進
 - ア) キャリアアップ制度による職位職責の明確化と人材育成の仕組みを構築し、積極的に研修を受講させた。
 - イ) 職員総数の半分の新入職員を迎え入れるにあたり、マニュアルの見直しと周知徹底。育成方針の確認、育成経過の確認
- 利用者サービスの充実と関係機関との連携強化
 - ア) 我が子を預けたいと思う保育の創造を目指し、福祉職としての原点に立ち戻り、保育の共有化及び標準化を推進
 - イ) 子育て困難家庭や支援の必要な児童への適切な助言と関係機関との連携を強化、情報共有を行った。
 - ウ) コロナウィルス感染症感染防止策を意識し、体調管理や消毒清掃の徹底。『コロナ禍においても子ども達には沢山の楽しい経験をさせてあげたい。』をスローガンに、感染防止策を講じた行事の見直しを行った。
 - エ) 職員会議や園内研修を対面からオンライン形式に切り替えた。
 - オ) SNSを積極的に活用し、サービスの充実化を図った。
- 地域貢献事業の推進
 - ア) コロナ過でほとんどのイベントが中止となったがWADAミュージックフェス・中和田夏祭り・KaoフェスLEGOワークショップ・妊婦体験など地域子育て講座などを今後に向けて積極的に推進できるよう、地域子育ての専門性を地域に還元する準備を整えた。
 - イ) 中学生の職場体験や保育士実習生および歯科衛生士の実習受け入れ、次世代の人材育成においても地域の子育て拠点の役割を担った。
 - ウ) SNSを活用し、まずは地域に保育園を知ってもらい、繋がりを作るように努めた。そこから地域との交流、連携を強化した。

多摩市第二小学童クラブ



【事業報告】

○ 職員育成について

ア) ストレスチェックの導入をした。職員との事前事後面談を徹底し推進した。

イ) 職員育成に力を入れ、コロナウイルス対策のため、外部のリモート研修や内部研修の場を設け積極的に参加した。

○ 第二の2の定員増、運営について

令和2年度は135名定員でスタートした。また2階での運営にあたり児童の安全に配慮するため、職員を多めに配置をした。

年度当初、待機児童も多数発生したため、令和3年度の定員増の準備を多摩市と進めていた。しかし保護者のテレワークの増加などで児童の退所が増えたことや多摩市の財政逼迫等の判断で定員増は見送られることとなった。テレワーク等の保護者の就業形態の変化に伴い、今後の児童の申請数増減の見極め・対応を考えていく必要性を感じた。

今年度も2階のエアコンの不調等もあり、必要な機器・備品等については多摩市とその都度折衝して整えていく。

新型コロナウイルスの影響で3・4・5月と小学校が休校になり、朝から児童の受け入れを行った。

常時施設内の消毒や児童、職員の健康管理を徹底した。また非常事態宣言発令中は小学校とも綿密に連携を取り、協力して対応にあたった。

○ 地域活動について

コロナウイルスの影響のため、多摩第二小学校の行事はほぼ中止になった。

青少協第二地区委員会の定例会は非常事態宣言解除後に行われた。情報共有のため、積極的に参加した。

ご清聴ありがとうございました。

